



さかなグループのお部屋に、ゆりさんばらさんがレインボーロードを作り、縫いさして作った乗り物を走らせていきます。さくらさんからゆりさんまで、同じ乗り物の絵でも、その子によって縫っていく線の数・細かさを変えていて、「ばらさんじょうず！」「ゆりさんの、すごくこまかい！」とそれぞれの違いに興味をもっています。すみれさんもひも縫いでしんごうきピコリをつくったり、乗り物のシール貼りで絵本の世界を楽しんでいきたいとおもいます。



(いっしょにあそぼう!) ~すみれ~

す2のお友だちは交流時間が長くなり、時々、不安そうにする姿も見られます。そんな時、先に移行したす1のお友だちがあそびに誘ってくれることでホッとリラックスして過ごせる時間が増えてきました。また、ゆりさんばらさんがお手伝いしてくれるのを、恥ずかしそうにしながら喜んでいきますよ！

(できるよ!)~さくらぐみ~

自分のことは自分で頑張る力を持っているさくらさん。特にすみれさんの移行が始まってから「おてつだいがなくてもできる！」という気持ちを持って、少し時間がかかっても最後まで1人で頑張っています。その力が自信になるように見守りながら過ごして行きたいと思います。

(おとうばん やりたいな!) ~ばらぐみ~

ゆりさんがしているお当番をよ〜く見ていたばらさん。グループの先生に「お当番したい！」と話す姿も増えてきて、「お当番できる？」と聞くと「できる！」「頑張る！」と張り切って話していました。お当番表を描き、夕方の礼拝の時に名前を呼ばれると恥ずかしそうにしながらも「はい！」と返事してくれて、名前を呼ばれたお友だちを見て「僕も/私も…」と自分でやりたいことを伝えに来てくれる姿も増えてきました。お盆を持つときや、お皿をテーブルに置くときは両手で持つこと、使い終わったお盆の拭き方もゆりさんに丁寧に教えてもらっています。時には、落としてしまうこともあります。終わった後は「楽しかった。次も頑張る。」と話す姿がありました。

(自分の気持ち・相手の気持ち…) ~ゆりさん~

決めごとをするときは子どもたちに相談して、決めるようにしてきました。歌を決めるとき、飾りを作るとき、「なににする〜?」「〇〇はどう?」「〇〇がいいな〜！」と意見を出し合う子どもたち。「え〜?こっちがいい!」「どうしてもゆずれない!」など、決めるどころか「せんせー!〇〇ちゃんふざけはる!」「も〜きまらへんやん!」と喧嘩になり、保育者に助けを求める姿もありました。しかし、「ゆりさんだから、お友だち同士でお話して決めてね。」と見守っていると、なんとかまとめようとする姿や「ゆずってあげる」と言う姿も出て来て、自分たちで決められることも増えました。そんなやり取りの中「つぎは〇〇ちゃんのきめたやつにしようね。」と、譲ってくれたお友だちに声をかけている子の姿を見ました。決めごとをすると、意見が通らなかった子がでできます。そんなお友達の気持ちに気づいて声をかけてくれるおもいやり・優しさは、誰かに教えてもらったものではありません。お友だちとの関わりの中で譲ったり譲ってもらったりする経験をすることで、自然と学んだ心の成長です。

卒園に向けゆりさんだけの活動が増えていきますが、クラスでもグループでも、一番大きいゆりさんとしてお手本になるよう、力を出してもらいたいと思います。